

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスAYUMOおとり		
○保護者評価実施期間	R6年 8月 9日 ～ R6年 8月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	R6年 8月 1日 ～ R6年 8月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 9月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまたちが意欲を持ち参加できるような環境作り	プログラムの設定・見直し スタッフの育成	スタッフへの研修を増やす
2	保護者の皆様との結びつき	丁寧なヒアリングや情報共有を心掛ける	保護者会を定期的に行い、 保護者の方向士の結びつきも強くしていく
3	確立したプログラムの提供	運動療育による感覚統合に重点を置いた脳への働きかけにより 生活能力の土台となる感覚を整え、 その上に生活技術（学習・生活・対人スキル）を 積み上げるプログラムを提供する	幅広いスタッフの意見を取り入れ 今後も専門的な支援プログラムの提供を行う

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所外の交流の機会が少ない	地域の園に通園されているお子さまが ほとんどで、ニーズも少ない	現在不定期でのボランティア交流など、機会を増やしていく
2	柔軟なプログラム設定	運動プログラム・生活プログラムの流れが決まっており 逸脱が難しい	ニーズの把握をしっかりとできるように努め、 プログラムの流れの中で可能な限りの対応を行う
3	広々とした空間の確保	運動をメインで行う為狭さを感じやすい	空間分けなど安全に活動できる工夫 室外での活動（おでかけ等）も取り入れていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスAYUMOおとり
------	---------------------------

R6 年 10 月 8

公表日 日

利用児童数 2024年8月31日 回収数 30名/43名(69.7%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	4	1		・今でも十分活動できていますが、あと1.5倍くらい広いと、よりよいのかなと思います。 ・色々工夫をして下さり楽しく過ごせてます。 ・少し狭いと思う ・外遊び出来るスペースもほしい	ご意見を頂き、ありがとうございます。 運動をするための十分なスペース（64㎡）がございます。遊ぶ場所や遊ぶ内容に合わせて室内を区切る等工夫し、危険のないようにのびのびと遊べる環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	2				専門性：保育士資格、幼稚園教諭免許、小学校教諭免許、理学療法士、児童指導員等、有資格者を配置しております。 また、1日を通して常時4～5名のスタッフを配置しております。 あい・さかいサポートリーダーを受講しているスタッフも在籍しておりますので今後とも全スタッフで定期的に研修の受講・共有を行い、専門性を更に高められるよう努めて参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28					施設内に段差はなくバリアフリー化に努めています。 本人に分かりやすいようにホワイトボードにスケジュールを掲示したり、絵カードを使用したり、個人にあった支援を心がけております。 施設内に段差はなくバリアフリー化に努めております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28					外からの光を取り込むことで居心地のいい空間作りを行っております。毎日の清掃、空気清浄機の設置、気温に合わせた空調管理を行い、心地よく過ごせる空間を大切にしております。 自由時間などお子さまの希望する活動が複数に分かれる際はデント（大・小）等で空間を区切って活動に集中しやすい環境を作っています。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	3				日頃からお子さまの状況を保護者様と伝え合えるよう留意しています。 朝礼や終礼を通してスタッフ間で情報共有を行う時間を設けています。今後もお子さま一人ひとりへの共通理解を大切にしながら、サポートをさせていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1				今後も支援の内容を保護者様と共有できるように発信していきます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28					少なくとも半年に1回は面談を行い、お子さまや保護者様のニーズを踏まえ、個別支援計画の案をもとにスタッフとの支援会議後、個別支援計画の本案を作成しております。

適切な支援の提供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1				アセスメントに沿って、それぞれの支援内容を設定し計画書に位置付けております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1				経過記録に個別支援計画の目標を記載し、全スタッフが目標に沿った支援が行えるよう努めております。今後も計画に沿った支援を心がけて行きます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2				3ヶ月（2週×6）で同じ種目に繰り返し取り組んでいます。繰り返して取り組むことで種目の上達を促したり、達成感を感じられるようにしています。全スタッフで年間の振り返りをし、プログラムの改善を目指しています。祝日のイベントプログラム内ではいつもと違ったメニューも用意しておりますので是非お試しください。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	17	5		まだ入所したばかりなのでよくわかりません。	ボランティアの方に来て頂き、地域のお子さまご利用者さまにもご参加頂ける木工教室を不定期に開催しています。今後も開催時にはお知らせいたしますので是非お試しください。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28					運営規定、利用者負担に関しましてはご契約時に必ず説明をし、確認や理解をしていただいております。また、ご契約前に一度お越しいただき実際の支援プログラムを体験いただいた上でご説明をさせていただきます。ご不明な点がございましたらいつでもご質問ください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28					案の段階で説明をし、意向との相違点等がないか確認しております。その後、本案の作成を行い再度説明・確認をさせていただきますので保護者には今後ともご協力賜りますようお願い申し上げます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	2				さかいハイツ友の会が主催する自助・家族会「アユムーン」の開催場所提供をしており、職員も参加交流しています。（偶数月の第3土曜日）皆様のご参加を心からお待ちしております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28					送迎時等、お会いできた際に活動中の様子等はお伝えさせて頂いております。ご希望の方にはお子さまが来所されている時間帯に見学をしていただけます。個別支援計画に沿った支援の中での発達の状況、課題については半年に1回の面談時により深くお話をさせて頂いております。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28					定期的に面談をさせていただいております。 保護者の方の気持ちに寄り添った傾聴を心掛け、不安の解消をしていただくことを大切にしています。分かる範囲の助言以外は一度持ち帰り職員で話し合ったうえでの回答や、専門機関の紹介をさせていただくこともございます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28					今後もお子さま、保護者様に寄り添った支援ができるよう努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	9	1			感染症対策の為しばらくの間保護者会の実施ができていませんでしたが、今年度より再開致しました。 7月に開催した保護者会では8組のご家族様にご参加いただきました。 今後も定期的な開催を行っていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	2			話したい先生がいる日がわからないので、変更があったとしても月初に教えてほしい	ご意見ありがとうございます。シフト制でお休みをいただいている為休みを固定することが難しい状況となっております。お手数をおかけいたしますが、話したいスタッフがいる場合お問い合わせをいただければスタッフの勤務している日程をお伝えさせていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28					直接、保護者様、お子さまとの会話を大切にすることはもちろん、連絡ノートに記載して頂いたことに対してのお返事もさせて頂いております。これからもお子さまのご様子を保護者様にできるだけ詳しく伝えていけるよう努めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28					お子さまたちの活動スケジュール等を毎月発行の「AYUMOだより」にてお知らせしています。R5.4月よりInstagramも開設しました。引き続きHPブログにも日々の様子を掲載しております。自己評価表をHPに記載しておりますのでご確認ください
非常時等	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28					書類関係は鍵のかかるキャビネットで、厳重に管理しております。 契約時に説明をしている『個人情報使用同意書』に書かれている範囲内で使用させて頂き、SNS等でもご利用者の顔が写らないようスタンプ等を押して配慮しております。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	3			分かりません。	年間で計画を立て、マニュアルに沿って研修をしております。 現状、契約時以外では保護者様へ説明するまでに至っておりません。保護者様にも周知・説明していけるようすすめています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	1			分かりません。	避難訓練はスタッフ間で研修を行い、半年に1回子どもたちと一緒に避難訓練を行っております。欠席のお子さまなど訓練できていないケースもある為、周知できるようにしていきたいです。また、職員間で避難誘導の研修を定期的 to 実施しています。

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28					年間を通して安全計画を策定しております。 今後も周知できるようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28					事故発生時の対応につきましては、契約時にご説明をさせていただいております。 また、実際に支援中の怪我等が起きた場合は速やかに保護者様にご連絡・ご相談をさせていただいております。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28					環境整備や職員のスキル向上に努め、今後も安心して通所できるような事業所作りをしています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	1				これからもお子さまたちに楽しんで参加してもらえるよう支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28					今後もお子さまたちの「できた！」をたくさん引き出せるような支援を心掛けていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援・放課後等デイサービスAYUMOおおとり		R6 年 10月 8日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	・運動をするための十分なスペース（64㎡）、運動器具用の倉庫、別室にて相談室があります。 ・またクールダウンのスペースも用意しています。	おにごっこ等激しく移動する活動では窮屈さを感じることもあるので人数を分けるなど安全に留意して活動を進めています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	・専門性：保育士資格、幼稚園教諭免許、小学校教諭免許、理学療法士、児童指導員等、有資格者を配置しております。 ・子どもとの関わり方等の研修を受講しています。 ・配置数は常時4～5名配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・施設内に段差はなくバリアフリー化に努めています。 ・訓練室は掲示物を無くす事で刺激を減らし、プログラムに集中できるようにしています。 ・やることリストを見て、自分で身支度ができるように分かりやすくしています。 ・ホワイトボードにプログラムのスケジュールが分かるようにプレートを貼り、始めの会で見せながら話をする等、見通しを持って活動に参加出来るようにしています。また、絵カードや表を使った視覚支援を行っています。 ・洗面所には補助台、トイレには補助便座を用意しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	・外からの光を取り込むことで居心地のいい空間作りを行っております。 ・毎日の清掃、空気清浄機の設置、気温に合わせた空調管理を行い、心地よく過ごせる空間を大切にしております。 ・自由時間などお子さまの希望する活動が複数に分かれる際はテント（大・小）等で空間を区切って活動に集中しやすい環境を作っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	・相談室や一人用のテントを使ってクールダウンの時間を作れるようにしています。	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	3	・毎年、スタッフ間でプログラムや業務内容・年間のスケジュールの振り返りをし、改善を目指しています。	少ない出勤数の非常勤スタッフは参画できていないこともあるので、意見を取り入れられる工夫をしています。

業 務 改 善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・年に一度実施し、結果とフィードバックをホームページに掲載しています。 ・アンケート調査の結果を踏まえ職員で改善策の話し合いをしています。 ・保護者の方からのニーズに関しては全職員で把握し、改善すべき点を話し合ったり、集団での改善の難しさがあるニーズは自由時間に個人で取り組んだり、違った視点からの療育ができるよう心掛けています。すぐに改善、取り組めることにはすぐに対応し、保護者の方に伝えていけるようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・週や月、年間の振り返りの際に改善に向けて職員間で意見を出し合っています。 ・面談の機会を半年に1回設けております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10	・第三者委員会は現在設置しておりません。 ・外部講師等を招いた上での研修の機会等は設けています。	第三者委員会の設置を検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・事業所内での研修や外部講師を招いた研修を年間スケジュールを立てた上で実施しています。 ・外部での研修会に職員の偏りがないように参加しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	・運動療育を通じ、お子様一人ひとりの個別の目標達成に向けて「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間性・社会性」の5つの領域から総合的にアプローチを行えるプログラムを作成し支援しております。	ホームページでの公表は現在調整中で今年度中に実施予定です。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	・少なくとも半年に1回は面談を行い、お子さまや保護者のニーズを踏まえ、個別支援計画の案をもとにスタッフとの支援会議後、個別支援計画の本案を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・スタッフ間での共通理解ができるよう日々の様子の振り返りや面談内容の共有をしたり、支援会議をした日に休んでいた職員には個別で意見を聞いたりしながら全職員で計画についても考えられるようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	・児童の個別支援計画の目標をまとめて記載しいつでも一見できるようにして、全スタッフが目標に沿った支援が行えるよう努めております。 - 今後も計画に沿った支援を心がけて行きます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・アセスメントシートを用いてお子さまへの状況の理解を深めています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	・お子さまの状況に合わせてできる範囲で支援内容を設定し、行っています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	・全スタッフで年間の振り返りをし、プログラムの改善を目指しています。 ・イベントの担当スタッフを年間を通して決めて色々な視点を持ち支援できるようにしています。	より幅広い層のスタッフからの意見も取り入れ、お子さまたちにとってよりよいプログラムになるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	2	・3ヶ月（2週×6）で同じ種目に繰り返し取り組んでいます。繰り返して取り組むことで種目の上達を促したり、達成感を感じられるようにしています。 ・祝日のイベントプログラム内ではおでかけをしたり、季節に沿った活動を楽しんだりしています。	同じ運動種目の中でもいろいろな工夫を取り入れお子さまたちの「やってみよう」の気持ちを引き出していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・プログラムの中では集団での活動が主ですが、プログラム以外の時間では個別で学習支援を行ったり個別での課題に取り組んだりする時間も設けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・毎日の朝礼で事前にお子さまの状況やプログラム内容について情報共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	・毎日の終礼でその日の振り返りを行い、情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・サービス提供の記録、支援の経過記録をご利用される毎に行い、いつでも支援内容や様子の振り返りができるようにしています。その他にも必要に応じて業務日報への記録を行い職員間での共通認識ができるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・基本的に半年に一度全スタッフで計画の見直しを行っていますが保護者の方からの要望があった場合、即時に対応できるようにしています。 ・具体的な目標設定を行い、本人にとっても達成感が感じられるようにしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10	0	・複数の遊び道具を用意する等、自由時間の中で好きな遊びを選び挑戦できる環境を大切にしています。 ・プログラムを通して日常生活動作の獲得や地域の中でのルール（お買い物等）を確認する機会を作っています。 ・お子さまたちの意見を取り入れながらプログラムの進行をするに留意しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	・聴覚情報や視覚情報を用いて、お子さまに合わせた複数案の提示を行い自己決定への支援をしています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	・児童発達支援管理責任者と一緒に、可能な日はフロアスタッフも同席しています。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	・医療的ケアを必要とする利用児の該当はありませんが医師の指示書が必要な児童に対しては指示書通りの対応を行います。 ・学校、福祉事業、基幹相談支援や役所との連携も必要時には行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	・年間行事を毎年保護者の皆様から共有していただいております。 ・必要時には学校との連絡を取り合い調整等行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0	・未就学児のクラスから継続してご利用されている方につきましては情報共有をしているお子さまもいらっしゃいます。 ・小学生のクラスからご利用の方につきましても今後必要に応じてできるようにしていきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	10	・小学校のクラスまでの為、現状実績はございませんが卒業された方からのご要望があれば情報提供に努めます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	0	・並行通園されている方もいらっしゃる為、必要に応じて情報共有を行う等 連携を図っています。 ・育成事業の方に来ていただいた際にスタッフも研修に参加しています。 ・また、あい・さいの研修を受講しています。今後もいろいろな職員が受講できるようにしていきます。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	3	・ボランティアの方に来て頂き、木工教室を不定期に開催しております。地域のお子さま、ご利用者さまにもご参加頂けるよう周知しております。	事業所の活動として交流の機会を持つことはまだまだ少ない為工夫できる点を模索していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0	・地域の事業所連絡会への参加を積極的に行っています。 ・西区の自立支援協議会へも可能な限り出席しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・連絡ノートや直接のお話できる時間から、情報共有し、共通理解を持てるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	・さかいハッツ友の会が主催する自助・家族会「アコムーン」の開催場所提供をしており、職員も参加交流しています。（偶数月の第3土曜日）	ペアレントトレーニングは研修の機会も少なく、できていないのが現状です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・契約時に説明しています。また、変更が生じた点はその都度説明を行い、同意書等を頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・面談の際にゆっくりお話を聞かせていただき、意向の把握に努めております。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	・案の段階で説明をし、意向との相違点等がないか確認しております。その後、本案の作成を行い再度説明・確認を行います。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・訪問、来所、電話等相談があった場合、傾聴を心掛け、不安の解消に努めます。分かる範囲の助言以外は一度持ち帰り、全職員で共有した後、話し合った上での回答をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	0	・感染症対策の為にしばらくの間保護者会の実施ができていませんでしたが、今年度より再開致しました。 ・7月に開催した保護者会では8組のご家族様にご参加いただきました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・苦情が発生した際のマニュアル、フローの作成を行い迅速かつ適切な対応ができるようにしています。また、職員間での共有・反省を行い再発の防止に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・月に一度、おたよりを発行しています。 ・HP上でのブログ以外にもSNSを用いて情報の発信をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・書類関係は鍵のかかるキャビネットで、厳重に管理しています。 ・契約時に説明をしている『個人情報使用同意書』に書かれている範囲内で使用しています。SNS等でもご利用者様の顔が写らないようスタンプ等を押して配慮しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・ホワイトボードや絵カードを使って視覚からのアプローチをしたり、漢字を使わず短文で伝えたりして情報を伝達できるように努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0	・地域のボランティアの方々をお呼びしたり、地域のお店におでかけしたりと地域との関わりの機会も設けています。	年間を通して回数は少ない為、今後機会を増やしていきます。
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	・マニュアルを策定し、年間スケジュールに合わせた研修・訓練を実施しています。	ご家族の皆さまにもマニュアルの内容を周知できるようにしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	・実際の避難経路の確認等、防災訓練で行っています。	シフト制・出勤数が少ない非常勤スタッフもいる為全員が参加して訓練を行うことが難しい現状ですが情報共有をして全員が理解できるようにしていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	5	・服薬やてんかん発作等についてはフェイスシートを用いて情報提供をして頂き日々の様子を見ています。	予防接種の記録については現在把握できておりません。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	・年度の始めにフェイスシートの見直しを保護者の方にしていただき、お子さまのアレルギーの把握ができるようにしています。 ・イベント等で施設から食べ物を提供する際には改めて保護者の方々にアレルギーの確認をしています。	

ハ 常 時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	・お子さまとの避難訓練を年 2 回行っています。 ・加えて職員間で避難誘導の研修を定期的実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	4	・避難訓練をするときには事前に一斉連絡を行い、内容を周知しています。その際に避難場所についてもお知らせし、保護者の方々への理解を深められるよう努めています。	避難訓練以外の計画内容も周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・起きた時にはその日の終礼で報告、情報共有後、ヒヤリハット報告書に報告者、発生日時、場所、内容、状況、要因、課題・対策を記入し、全職員で確認し、再発防止に繋げていきます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	・虐待防止委員会の設置をし、定期的な研修を職員に対して行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	・身体拘束適正委員会にて方針の決定を行い、従業者に周知しています。 ・全ての利用の方にやむを得ない場合の身体拘束についてのご説明をさせて頂いています。活動中のやむを得ない身体拘束については個別支援計画にて同意して頂き、その都度、保護者へのご説明、記録、報告を行っていきます。	